

小学校 6年

歴史上の人物の「推し」はこの人！

茨木市立天王小学校

教科	社会	単元名	歴史上の偉人をふりかえろう
----	----	-----	---------------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用

① - STEP 3 ABCD

② - STEP 3 GH

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

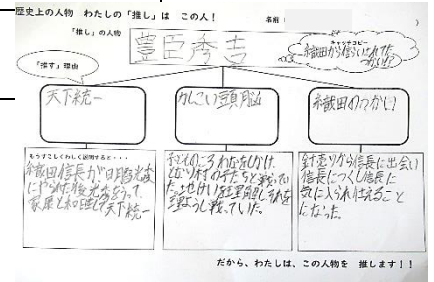
- ・歴史上の偉人の功績や生き方、その後の日本に与えた影響などについて、言葉や文でまとめる力

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・図書資料から、自分が選んだ偉人についての功績や人物像などについて書かれている情報を集め、整理分析する力

単元における学習の展開（全3時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○学習の見直しをもつ。 ・これまでの学習の中で、特に興味関心をもった歴史上の人物についてふりかえる。 ・図書資料を使って、その人物が成し遂げたことやエピソードなどを調べてまとめる。(☆)・・・本時
第2次 (1時間)	○プレゼンテーションの内容を考える。 ・オクリンクプラスのカードで「推し人物」の肖像(写真)、名前、キャッチコピーを作る。 ・ワークシートに「推す」理由やくわしく調べたことを書く。 ・発表内容を一人3分程度で考える。
第3次 (1時間)	○「推し」偉人について語り合う会を開こう。 ・グループで、お互いの「推し人物」について、プレゼンテーションを聴き合う。 ・クラス内で、発表し合う。



本時のねらい

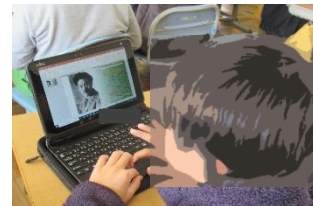
- ・自分の「推し」の偉人について調べ、自分が考えるその人物の魅力について言葉や文で表す。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 本時の学習課題を確認する。 ・これまで学習してきた中で心に残っている歴史上の人物を思い起こす。 ・その中から「推し」の偉人を一人選ぶ。 ・ワークシートの記入例を提示し、活動のイメージをつかむ。	・範囲が広いので、心に残っている時代や出来事に関わった偉人など自分なりの理由をもって選ぶように促す。
展開 (35分)	2. 選んだ偉人について調べ、ワークシートにまとめる。 ・教科書や資料集、図書資料などを使って、成し遂げたことや人物像、エピソードなどを調べる。 ・調べたことから、「推す」理由として、伝えたいことをワークシートに書く。 ・その人物を表す短い言葉(キャッチコピー)を考える。	伝記や歴史に関する図書資料を用意する。資料の中から、自分が伝えたいと思う情報を整理分析するように伝える。
まとめ (5分)	3. 学習のふりかえりをし、次回への見直しをもつ。 ・プレゼンテーションの見本を提示し、次回の活動の見直しをもつ。	一人2～3分程度の発表にまとめて、話すようにする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・自分の「推し」を選ぶということで、教科書やノートを振り返りながら、主体的に取り組んでいる様子だった。
- ・ワークシートに書き込みながら、資料から得た情報を整理することができた。たくさんの情報から、どんな情報を選ぶか、どんな言葉で表現するかよく考えている様子だった。
- ・同じ人物でも伝える人が着目する部分によって、印象が変わったり、人物同士で共通点が見つかったりした。伝え合う活動を通して、考えが深まったり広がったりする場面が見られた。
- ・友だちが選んだ偉人についての紹介を聞くことで興味関心が湧き、学習後も図書資料を進んで読む姿が見られた。



スライドの作成



7～8人のグループで伝え合う